

## 0 理念

### 進捗状況報告

(1)の理念・目標を達成するため、(2)のような「改善の具体的方策」を掲げたが、まず、「人文演習」については、学年度末に新旧担当者会議を開き、学生による授業評価の結果なども参考にしながら問題点の検証を行い、改善に役立っている。入門科目・総合科目については、現在カリキュラム改編が検討のさなか、総合科目等検討ワーキンググループでの問題点の検証が行われ、改善への努力がなされている。「専門科目(学科科目)」についての課題や問題点も、カリキュラム改編作業とあわせてカリキュラム委員会で検証し、改善に役立てる方向で動いている。

### 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

より具体的には、「人文演習」については問題点を各担当者にフィードバックし、毎年度授業の改善に役立っている。入門科目・総合科目については総合科目等検討ワーキンググループを立ち上げ、2007年度春学期中の検討を経て、2008年度入学生から一部カリキュラム変更を予定している。「専門科目(学科科目)」についても、各専修からの意見を聴取し、カリキュラム委員会で検討を行っている。なお、2009年度の教育学部設置に伴う組織変更が生じることを考慮し、2008年度に向けての改善は必要最小限に抑える予定である。

### 学内第三者評価

理念・目標の達成に向けて、担当者会議・運営委員会・カリキュラム委員会を機能させ、担当者へのフィードバックを含めて、きめ細かく改善のための努力がなされていると評価できる。  
また、入門科目・総合科目・専門科目の改編・改革は互いに関連し合うものと思われるが、その総合的な検討がどこで、どのようなスケジュールで行われるかを明示することが望まれる。

なお、特別委員からは以下の意見があった。  
カリキュラム委員会が機能しており改善努力が見られる。  
しかし、掲げられた人材育成の目標が、多様な学問領域やあまりにも広範な科目編成の中でどのように生かされているのか見えにくい。